

新興国レポート

# インドが予想外の利下げを実施

## 物価の落ち着きでインド準備銀行の政策余地広がる

- ✓ インド準備銀行（中央銀行）（RBI）は2月7日の会合で、1年半ぶりとなる利下げを決定。当面の金融政策も「引き締め」から「中立」に変更。
- ✓ RBIは声明で、民間の投資活動や個人消費を活発化させる必要があると表明。経済成長が加速すれば、今年5月までに実施される下院議会選挙において、モディ政権の支援材料となる可能性も。

### ～RBIは予想外の利下げを実施～

- RBIは2月7日の定例会合で、政策金利を年6.25%へ0.25%引き下げることと決定し、即日実施しました。また当面の金融政策姿勢も「引き締め」から「中立」に変更しました。利下げは2017年8月以来1年半ぶりです（図表1）。今回の会合は2018年12月にパテル前総裁の突然の辞任を受けて就任したダス新総裁のもとでの初の会合でした。事前の予想では金融引き締めの前総裁の政策が引き継がれるとの見方が多かっただけに、予想外の決定内容となりましたが、消化難から当日7日の為替や株式市場への影響は限定的でした。

### ～物価の落ち着きでRBIの政策余地が広がる～

- インドの物価は落ち着いて推移しています。2018年12月の消費者物価（CPI）の上昇率（前年同月比）は2.2%と、RBIのインフレ目標である2～6%の下限近くまで低下しています（図表2）。RBIは今後も物価の安定が続くものと見ており、利下げでインフレ懸念が高まる可能性は小さいものと判断したようです。

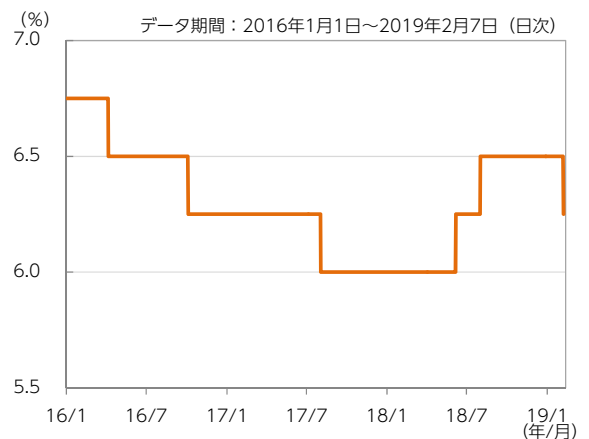
### ～物価や経済成長率見通しを修正～

- RBIは食料品価格の鈍化や個人のインフレ懸念後退等を主な要因として、2020年度（2020年4月～2021年3月）上半期の物価見通しを前回（2018年12月時点）の3.8～4.2%から3.2～3.4%に下方修正しました。また、米中の貿易摩擦や地政学的リスクによる世界経済の成長鈍化懸念等を背景に、2020年度上半期の実質GDP（国内総生産）成長率見通し（前年同期比）を前回の7.5%から7.2～7.4%に下方修正しました。

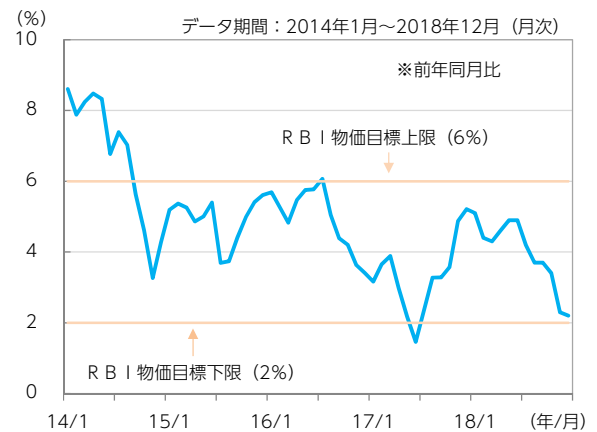
### ～利下げで個人消費を刺激する狙いか～

- インドの実質GDP成長率（前年同期比）は2018年4～6月期に8.2%に回復したものの、7～9月期は7.1%に鈍化しました（図表3）。政策委員会は声明で、現在の成長は公共投資に支えられている面が大きいとし、民間の投資活動や個人消費を活発化させる必要があると判断したと表明しています。
- インドでは5月までに下院議会選挙（全議席改選）が行われます。前回2014年の選挙で圧勝し、誕生したモディ政権ですが、今回の選挙では苦戦が予想されています。経済成長が加速すればモディ政権の支援材料となりそうです。

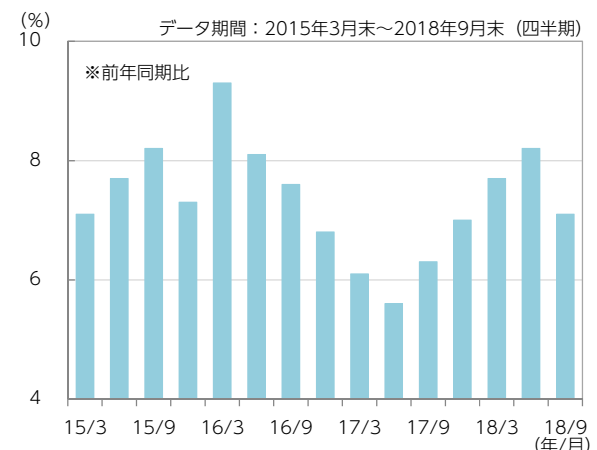
図表1：インド政策金利



図表2：インドCPI（前年同月比）



図表3：インド実質GDP成長率



## 【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

## &lt;設定・運用&gt;



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>